

令和3年8月13日

京都府中丹東農業改良普及センター

京都府中丹西農業改良普及センター

大雨による冠水・浸水対策情報

【事前対策 共通】

- 排水溝の点検、清掃を行う。特に、排水溝の溝尻が排水路につながっていることを確認する。
- 農業機械や資材等、冠水や浸水等で被害を受けそうなものは、高台等へ避難させておく。

【冠水・浸水後対策 共通】

- 大雨により浸水・冠水したほ場や滞水しているほ場では、溝切りなどの排水対策を実施するとともに、明渠や排水溝へ排水されているか確認する。
- 土砂が流入している場合は、可能な限り速やかに土砂等を取り除き、乾燥を促す。
- 農作物については、病害の発生に注意する。特に収穫時期が近づいている作物に殺菌剤等の薬剤を使用するときは、収穫前の使用期限に注意し、ラベルに記載されている使用基準や注意事項を遵守するとともに、隣接する他の作物に薬剤がドリフト（目的外飛散）しないよう注意する。
- 降雨後のほ場確認は、単独での行動を避ける。また、道路では路肩が、ほ場ではのり面や周辺の地盤が緩くなり、滑りやすくなっている場合があるので、車両の走行は速度を落とし十分注意する。
- 冠水・浸水の被害を受けた農作業機械・設備、自動車等は、販売店等に依頼して早急に動作確認を行う。水抜きができていない状態でいきなりエンジンを始動したり、電源を入れたりすると、重大な故障や事故につながる恐れがあるので、注意する。特に電子基板が入っている機械ではショートにより部品の全交換が必要な場合や、作業機ではブレーキが効かないことがあるので注意する。

**雨が激しくなった場合は、むやみにほ場の見回りをするなどは控え、身の安全を確保してください。
また、増水した川や用水路を見に行く等も、事故につながる場合が多いため、控えてください。**

【冠水・浸水後対策 作物別】

1 水 稲

- 根の老化を防ぐため、新しい水と入れ換えた後、間断灌水（土壌中への酸素補給）により生育の回復を早める。
- 白葉枯病、ウンカ類等病害虫が多発することがあるので、発生状況を確認し、防除を徹底する。
- 冠水した場合は、葉を水面に出させるため、排水路の浮遊物や泥を除去し速やかに排水させる。

2 豆 類

- 短時間のほ場滞水でも湿害が発生するので、速やかにほ場の排水を図り土壌の乾燥に努める。
- 泥が付着した場合は、乾くまでに動噴の水で汚れを落とし、病害予防のため銅剤のコサイド3000（又はZボルドー）を散布する。

3 野菜

- 滞水している場合は、速やかにほ場の排水に努める。
- 液肥（500～1,000倍）を施用し、草勢の早期回復を図る。
- 風雨による傷から菌類が侵入し、病害の発生が予想されるので、こまめに観察し、発生初期に防除する。
- ※銅剤のコサイド3000（又はZボルドー）を用いた病害予防散布や、特に万願寺甘とう・紫ずきんでは、浸水により蔓延しやすい疫病対策としてランマンフロアブル散布を行う（使用時期・倍率等はラベル参照のこと）。
- 収穫可能なものは速やかに収穫し、また、播種直後で発芽不良の場合は、直ちに播き直す。

4 果 樹

- 落下した果実は、園外に持ち出して処理する。
- 冠水した場合は、速やかな排水に努める。

5 茶

- 茶園が浸水した場合は、速やかに排水を図るとともに漂着物を除去する。
- 強風で株元が緩んだ幼木園では土寄せを行い、地際部や根を保護するために敷草等を行う。
- 土砂が流入した場合は速やかに取り除く、また、表土が流亡している場合は早急に土入れを行う。
- 性フェロモン剤(交信攪乱剤)を設置した茶園では、剤が地面に落ちている場合には、拾って再設置する。